

BUNKYO

文教大学父母と教職員の会
北海道支部だより No.12
(2019年12月1日)
発行責任者；支部長 高橋 勇
文教大学父母と教職員の会 HP
<http://www.bunkyo.ac.jp/etc/fubokyo/>

支部長研修が終わりました

今年度も湘南キャンパスを会場に、支部長研修会が行われました。今回は、次期支部長の渡辺さんと次期副支部長の池田さんが参加してくれました。以下、池田さんから頂いた支部長研修会の報告をそのまま紹介します。

11月9日、10日の2日間で支部長研修に行かせて頂きました。お天気にも恵まれ今年は学校から富士山が見えました。学校祭の時だけは、学校の展望台を開放してくれるそうです。学校祭と支部長研修会が同じ日になれば良いねというお話も出てましたが…。

それはさておき1日目は、支部運営マニュアルについての説明と、支部会計についてのお話がありました。

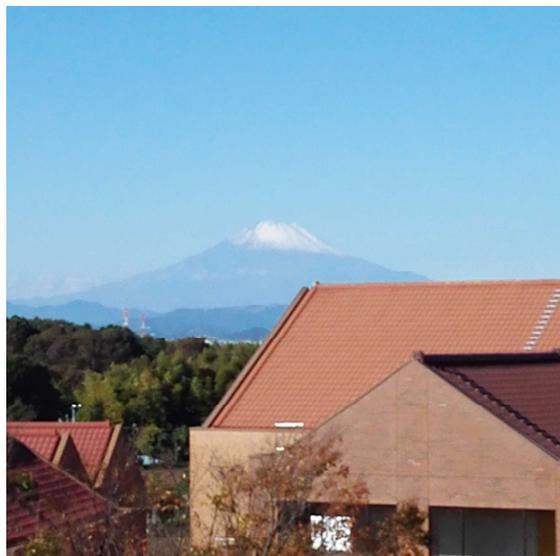
その後の分科会では、青森、岩手、秋田、福島、茨城、群馬の計7支部で上記の支部運営、会計についての討論がありました。会員数の多い支部と、少ない支部、また、地理的なものなど各支部で温度差があるなと感じました。また、各支部の余剰金にも差があるので、なるべく使いきってほしいというお話もありましたが、それも小さい地方の支部長さん達からは、何かあったら不安だとの声があがっていました。

2日目は会計処理の勉強会とホームページ更新の勉強会を行いました。

会計処理では、エクセルで簡単に計算し、決算報告書等に転記できるようなものを年明けくらいまでに、ダウンロード出来るよう準備するというお話がありました。

ホームページは各支部で一人と言うことで渡辺さんが作っていただきましたので後で見てください。

昨年に引き続き参加させて頂き、とても学びの多い有意義な時間でした。



湘南キャンパス(神奈川県)には情報学部、国際学部、健康栄養学部、経営学部の4学部と大学院があり、約3200人の学生が学んでいます。

遠く秀峰富士を望む湘南キャンパスは、緑に囲まれた絶好の環境にめぐまれています。まるでヨーロッパの町並みを再現したような赤レンガの建物が、青空によく似合います。

父母のための 一日大学

毎年6月に開催される「父母のための一日大学」ですが、今年度、池田支部委員が参加し、その内容を報告してくれました。大変遅くなりましたが、紹介させていただきます。

このような本部の催しに参加しやすくするため、支部としてその旅費の一部を補助するように、先日の支部総会で承認されました。

補助を活用し、参加されることを期待しています。



6月3日、日曜日、「父母のための一日大学」に行ってきました。

午前中は学科別の懇談会があり、学生生活についてと就職についてのお話がありました。進路状況の説明の中で印象的だったのが、親としてついついやってしまいがちな、やってはならないこと、1つ目は過干渉、2つ目は親の無知、3つ目に無関心、最後は無理解のまま親の希望を押し付ける…ということでした。

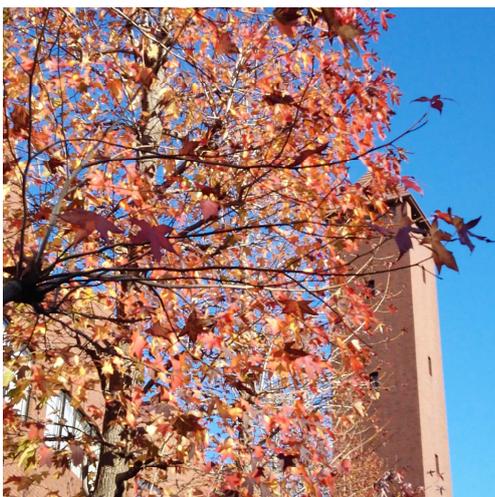
そして子育てのゴールは、自ら働いて食べていける事とありました。子供のためと思いやっていることも多くの親は、過干渉であったり無関心であったりが多いのでは？というお話でした。

次にお昼は学科別の懇親会ということで沢山の先生方とお話することが出来、また同じ学科の保護者の方々とも顔を合わせることができとても実りのある時間でした。

午後からは、選択の講話を聞くことができました。私は「日本人の平均寿命の延びと公的年金」を聞いてきました。年金問題は色々言われておりますが、なくてはならないものだと言われていました。

その後もプログラムはあったのですが、今回はここで失礼し娘と買い物に行き夕食を共にしました。

なかなか大学の先生とお話する機会もないので、「父母のための一日大学」のような催しはとても有り難く、そのような活動を支えている父母と教職員の会に感謝したいと思います…また機会があれば百円食堂も食べてみたいと思います。 池田(和)



お子様やご家族の近況、学生生活奮闘記、就活奮闘記、その他文教に関する記事を気軽に寄稿ください。あなたの寄稿が「支部だより」をつくり交流になります。是非、ご協力ください。

y500010162yotaro0601@yahoo.co.jp (高橋のメールアドレスです)